

# レースオブザーバーの役割

平成 26年 7月 20日  
日本模型ヨット協会  
レース委員会

レースオブザーバー制のレースについては、2013～2016 (ISAF) 国際ヨット競技規則付則 E5.1 に規定されていますが、詳細が不明確なため、JMYS として運用規定を定め、公正且つスムーズなレース運営を行いたいと思います。

## 1. 監視していただく項目

- 1-1 スタート時のリコールの有無
- 1-2 マーク通過時のマークタッチの有無
- 1-3 艇どうしの接触
- 1-4 フィニッシュ順位
- 1-5 コースのトレースの有無(※)

## 2. 現認した場合の処置

- 2-1 上記のケースを現認した場合に、**セールNo.とともに、大声でコールする。**  
対象艇が、**コールされたことを認識するまで**コールする。
- 2-2 コールされた艇による**ペナルティーターンを確認する。**  
ペナルティーターンを確認した場合は、**該当艇に確認したことを伝える。**
- 2-3 該当艇がペナルティーターンをしなかった場合はその状況をレース(ヒート)終了後速やかにレース委員に報告する。  
(レース中に該当艇にペナルティーターンを指示してはならない。)

## 3. 注意

- 3-1 インシデントでは、該当艇に対して**レース中に権利関係を説明してはならない。**  
レース終了後のプロテスト委員会の審議の参考とするため、インシデントの**状況を把握・記憶・記録**する。  
(1艇がペナルティーターンを行っても、レースオブザーバーが違反艇と判断した艇がペナルティーターンを行わなかった場合も報告する。)
- 3-2 中途半端なコールはしない。(コールは**自信を持って大声でハッキリと**)  
例 接触してるのかなー
- 3-3 **2人一組**で監視し、レース中に確認したインシデントは、**互いに確認**する。
- 3-4 ※コースのトレースが完了していない艇を確認したときは速やかにレース委員に報告する。

以上、レース運営が公正且つスムーズに行われるように、ご協力願います。